

オンライン診療の実施にかかる診療計画書・同意書

オンライン診療の実施にかかる基本的な考え方

- 原則として、初診は直接の対面による診療を行います。
- オンライン診療は、触診等を行うことができない等の理由により、得られる情報が限られます。そのため初診以後も、同一の医師による対面診療を適切に組み合わせて行うことが求められています。ただし、当院の場合、複数の常勤医師が対応します。
- オンライン診療を実施する都度、医師がその実施の可否を慎重に判断し、オンライン診療による診療が適切でない場合には、速やかにオンライン診療を中断し、対面による診療に切り替えます。
- オンライン診療は、患者さんがその利点および生ずるおそれのある不利益等について理解した上で、患者がその実施を求める場合に実施されるべきものであり、研究を主目的としたり医師側の都合のみで行ったりしてはならないとされています。

上記項目に加え、以下の診療計画等をご確認いただき、裏面の同意書の署名欄にご署名し、この用紙を提出してください。

診療計画

オンライン診療で行う診療内容	診療内容：避妊目的のピル希望（避妊指導）、生理を遅らせたい（月経移動）、不妊相談、妊婦相談 治療方法：問診と視診による薬の処方、相談者個別の状態に応じた医療に関する情報提供や受診勧奨
オンライン診療と直接の対面診療、検査の組み合わせに関する事項	初診：直接の対面診療を原則とします 再診：症状に応じた処方の場合は医師の判断によることとします 定期処方の場合、通常の間隔毎に、オンライン診療を実施します。 定期処方の場合、概ね1年に1回は対面診療を行うこととします。
診療時間に関する事項	オンライン診療のシステムを用いて事前にご予約ください 予約時間は30分程度、遅れる場合があります。ご了承ください。 予約されている場合でも、緊急の手術等によりやむを得ずオンライン診療を中止させて頂く場合があります。ご了承ください。
オンライン診療の方法・使用する機器	患者側：スマートフォン 医師側：医療機関のパソコン、タブレット端末等の情報通信機器 利用するオンライン診療システム：curon（クロン） なお、オンライン診療の間には、電話または当該システムに付随するチャット機能その他の方法を用いて、以下の情報伝達を行うことがあります。 ● 予約日時の調整 ● ビデオ診察前後の時間調整
オンライン診療を行わないと判断する条件	● 患者の心身の状態について、十分に必要な情報が得られていないと医師が判断した場合（初診の方、半年以上通院されていない方は受けられません） ● 体調に変化が現れ、対面診療の必要性が認められた場合 ● 情報通信環境の障害等によりオンライン診療を行うことができない場合 上記条件に該当した場合は、直接の対面診療に切り替えます。
患者による情報伝達の協力	オンライン診療の実施に際し、患者は診察に対し積極的に協力し、自身の心身に関する情報を医師に伝達する必要があります。
急病急変時の対応方針	当院で対応できない場合には、下記のクリニックに紹介いたします。 ● 京都医療センター ● 京都大学医学部附属病院 ● 担当医師が判断した医療機関
複数の医師がオンライン診療を実施する予定	有り ↳対応する医師 醍醐渡辺クリニックの常勤医師 (予約日時の外来担当医師がオンライン診療を実施する)

<p>情報漏洩等のリスクを踏まえて、セキュリティリスクに関する責任分界点等の明示</p>	<p><u>想定されるセキュリティリスク</u> 医療機関・オンライン診療システム提供事業者に対するサイバー攻撃等による患者の個人情報の漏洩・改ざん等</p> <p><u>医療機関及びオンライン診療システム提供事業者</u>に課される事項</p> <ul style="list-style-type: none"> オンライン診療の適切な実施に関する指針に定める情報セキュリティに関するルールを厳守したシステムを構築し、常にその状態を保つこと <p><u>医師に課される事項</u></p> <ul style="list-style-type: none"> セキュリティリスクを十分に勘案した上でオンライン診療システムを選択すること 患者および医師がシステムを利用する際の権利、義務、リスク等を明示し、かつ情報漏洩等のセキュリティリスク、医師・患者双方のセキュリティ対策の内容、患者への影響等について、平易に説明できるオンライン診療システム提供事業者を選択すること <p>なお、患者の行為により、セキュリティ事案や損害等が生じた場合、発生した直接的、間接的、その他すべての損害について、医師は責任を負いません</p>
<p>オンライン診療の映像や音声等の保存の要否</p>	<p>不要</p>

また、オンライン診療に伴うセキュリティおよびプライバシーのリスクに関連して、患者さまには以下の注意事項を守っていただくようお願いいたします。

- 患者側の使用するシステムに伴うリスクを把握してください
例) 生じうるリスク：スマートフォンの紛失や、ウイルス感染に伴う医療情報の漏洩等
取りうる対策：パスワード設定、生体認証設定、ウイルスソフトのインストール等
- オンライン診療を行う際は、使用するアプリケーション、OSが適宜アップデートされることを確認してください
- 医師側の了解なくビデオ通話の録音、録画、撮影はお断りいたします
- 医師のアカウント等情報を診療に関わりのない第三者に提供しないようご注意ください
- 医師との通信中に、第三者を参加させる場合は医師の了解を得てください
- 原則、医師側が求めない限り、あるいは指示に反して、チャット機能の利用やファイルの送付などは行わないようにしてください。特に外部 URL への誘導を含むチャットはセキュリティリスクが高いため注意してください
- オンライン診療時の本人確認のために、問診票で顔写真付きの身分証明書を提示してください。顔写真付きの身分証明書を有さない場合は、二種類以上の身分証明書をを用いて本人であることを証明してください。

以上

同意書

私は、上記の「オンライン診療の実施にかかる診療計画書」に関する説明を読み、内容を理解し、納得しましたので、診療計画と注意事項に従い、オンライン診療を受診することに同意いたします。

希望される診療内容に○を付けてください。

- 避妊目的のピル希望
(1年以上服用されている方に限ります)
- 生理を遅らせたい
- 妊婦相談
- 不妊相談 (どちらかお選びください)
①→これから体外受精を考えている
②→①以外の不妊治療の相談 (火曜日のみ)
- ①の方は予約日までに必ずホームページから
“体外受精オンライン説明会”をご覧ください

内容によりオンライン診療にそぐわない場合があること、緊急の手術等によりやむを得ずオンライン診療ができない場合があることをご了承ください。

同意日：西暦 年 月 日

住 所 _____

本人署名 _____ (診察券番号 _____)

連絡先電話番号 _____

医療機関記入欄

オンライン診療 No. _____